

佐藤
すぐ
る



challenge!
未来へ挑戦!
2009



携帯用HP

私は生まれ育った郷土・音更町の健全な発展に汗を流します。

佐藤 すぐる

MANIFEST

Challenge! 未来へ挑戦! 2009



つくる時代
つなぐ時代
信頼の明日



- 北海道音更町出身
1962年2月25日生まれ
大通り11丁目で生まれ、中学生まで十勝川温泉で育ち
現在は、南鈴蘭在住。家族は母、妻、娘
- 1980年 帯広柏葉高等学校卒業
- 1984年 東京国際大学商学部卒業
- 1993年 音更町議会議員（補選）初当選
- 1995年 // 2期目当選
- 1997年 音更町長選挙出馬。881票差で惜しくも涙
- 1999年 音更町議会議員に再出馬。トップ当選で3期目当選
- 2003年 音更町議会議員。2期連続トップで4期目当選
- 2007年 音更町議会議員。3期連続トップで5期目当選
- 【民生常任委員長(2001-2003)・議員定数調査特別委員長(2001)・
議会運営委員長(2003-2005)・北十勝消防事務組合議会議員(2006-2007)・
音更町議会副議長(2007～現在)・ほか、多数歴任】
- 趣味
歴史書、パソコン
- 好きな言葉
温故知新・至誠通天

『やらない』逃げるための理屈を優先していませんか？

『やる』挑戦するためには、どうすべきなのか…発想を切り替えるときです！

私は挑戦します！音更の未来のために皆さんの力をお貸し下さい!!

旧来見られるような役所機構別（縦割り）ではなく、世代毎（横割り）を柱に政策を提示します。
（町の既存施策について良いものは当然継承していきます。）

こどもの笑い声が響く、おとふけ

■冬期間でも遊べる屋内砂場がある、“こどもの城”を創設します（ボランティア支援、生涯学習センター機能も合体したものを文化センター周辺に）■保育園の園庭を芝生化し、裸足で駆け回る元気なちびっこを応援します■公設保育園の活性化～保育士サポート（園児のために忙しい保育士を応援する組織を検討）■教職員のPC環境を早急に整備します（情報漏洩の危険性からも個人PCは破棄）■学校備品（学習用PC、楽器や体育器具）の充実■食育の観点から、給食の地場産品消費に助成します■通学区域の柔軟性を図り、校舎の有効利用をします■避難場所の耐震化（学校体育館の改修）を急ぎます■学童保育対策は、放課後の学校開放を活用します

働き世代が活き活きワクワクする、おとふけ

■小規模土地改良事業、心土破砕などを町単独事業で実施し、地力のある農業を支援します■循環型農業の確立（耕畜連携、緑肥、食と作物の物語性 例 豚丼の郷）■十勝財団や帯広畜産大学などとの連携により、商業・農業・工業をネットワーク化した、農畜産物2次加工業の誘致・創成・充実を図ります■公共牧場の利活用を進めます■企業誘致・創成に力点をおき、働く場を作ります（厳しいときだからこそ“種まき”を）■産業に厚みを持たせるため、起業・あるいは転業支援策を講じます■十勝川温泉の“郷”計画（温泉街を森で包み、散策出来る特色溢れる温泉郷へ）■農村地区のブロードバンド化■幹線道路や環状道路の交通ネットワーク整備促進を図ります■時代にあった行政改革を断行します

●これまで、役場で行われてこなかった朝礼を行い、風通しを良くします（行政の連絡ミス、情報の共有、事務点検がなされないのはこのせい）
●総務部内へ人事課を設置し、人事異動ルールを確立します（若手職員を早期に幅広く経験させ、幹部職員・女性管理職の登用と養成を企図します）
●住民の目線に立った、分かりやすい組織機構へ再編し、機動的な組織にします●財政部の設置で、“攻め”と“守り”のバランスが取れた財政運営を行います●文化センター館長を「期限付き民間登用」とするとともに、生涯学習課と統合し社会教育を充実強化します●電子自治体の早期構築（庁内決裁、町民の申請など）で行政サービスの迅速化を図ります●公用車のエコカーへの更新を進め、環境に配慮します

老・壮・青、が社会参加する、おとふけ

■安心して暮らせるよう、介護・福祉の充実を図ります■帝織跡地などの空閑地活用（介護・福祉施設の再整備などを核にした）を研究■“1万人おどり”を復活します（若者などを先頭に、住民主導の開催を支援します）■第5期総合計画策定においては、地区毎のカラーをみなさんと共に打ち出します■生涯学習の拠点として、文化センター周辺を整備します■“寝たきりゼロの町”を目指し、認知症撲滅へ挑戦します■発見が難しい膵臓ガンなど、腫瘍マーカー健診の助成で予防医療を積極的に進めます■ご高齢者の方には恐い、肺炎球菌ワクチン接種の助成を行います■妊婦基本健診（14回）だけでなく、妊婦特定健診の助成を行います■広域運営や指定管理者制度などで、火葬場の建て替えを急ぎます■公共施設、街路灯、公園、避難場所などの照明を太陽光発電とLED化します■宅内道路の段差解消（UD化）と整備率アップ■上下水道の更新などを促進します■町内に架かる橋の耐震化（橋脚の補強で延命化）を進めます■老朽化した宝来・鈴蘭軽スポーツセンター、各地域会館の計画的補修を行います

佐藤 すぐる 連合後援会

〒080-0111 音更町木野大通り東13丁目1（コカ・コーラ北側）
TEL 0155-32-5777 FAX 0155-32-5778
<http://homepage2.nifty.com/Suguru/>

*会則（抜粋）

目的 第2条 本会は、佐藤すぐる氏の政治的、社会的、経済的活動を支援し、かつ会員相互の親睦をはかることを目的とする。